

社会基盤を支える公衆衛生医師



山形県村山保健所
保健企画課企画調整担当・
医務専門員
森 福治

2007年富山大学薬学部卒業。2014年山形大学医学部卒業。山形大学医学部小児科に入局し山形県の小児医療に従事。2021年山形県の公衆衛生医師へ転職、現職に就く。出身は福島県相馬市。

小児科専門医を取得後に行政へ。新型コロナウイルス感染症対応の傍らに、医療的ケア児の災害時支援なども行ってきました。業務時間外は、山形大学医学部の大学院生として研究を進めています。2児の育児にも配慮していただける希少な職場環境に感謝し、日々の仕事に励んでいます。

保健医療科学院の研修

2021年に山形県に入職し、新型コロナウイルスを通じて公衆衛生医師としての業務経験を積んできました。2022年4月からは、埼玉県和光市の国立保健医療科学院で公衆衛生全般に関する研修を3か月間受講しました(5月、6月はオンライン受講)。研修を通して得た公衆衛生に関する知見はもろろですが、研修で出会った同期の皆さんとのつながりが、何よりの財産になったと感じています。公衆衛生医師になって2年が経過するところですが、最近感じ

るのは、公衆衛生医師は社会基盤を支える仕事であるということだと思います。

社会基盤を支える公衆衛生医師

さて、少し唐突ですが、経済学者ケイト・ラワースの「ドーナツ経済」のイメージ図を紹介します。図にあるドーナツの内側の輪郭が社会基盤(教育や民主主義、住宅、電気、衛生環境など)で、これが不十分になると、人々はドーナツの穴に落ちてしまいます。一方、外側の輪郭は地球の環境的な上限を表しており、むやみに資源を使用

すると外側の輪を突き抜けて、地球が破壊され人々は生きられなくなることを表しています。ドーナツ経済は自然環境を破壊することなく社会基盤を充足させ、全員が豊かに繁栄するための方法論です。公衆衛生医師は、主に内側の社会基盤を守る仕事をします。

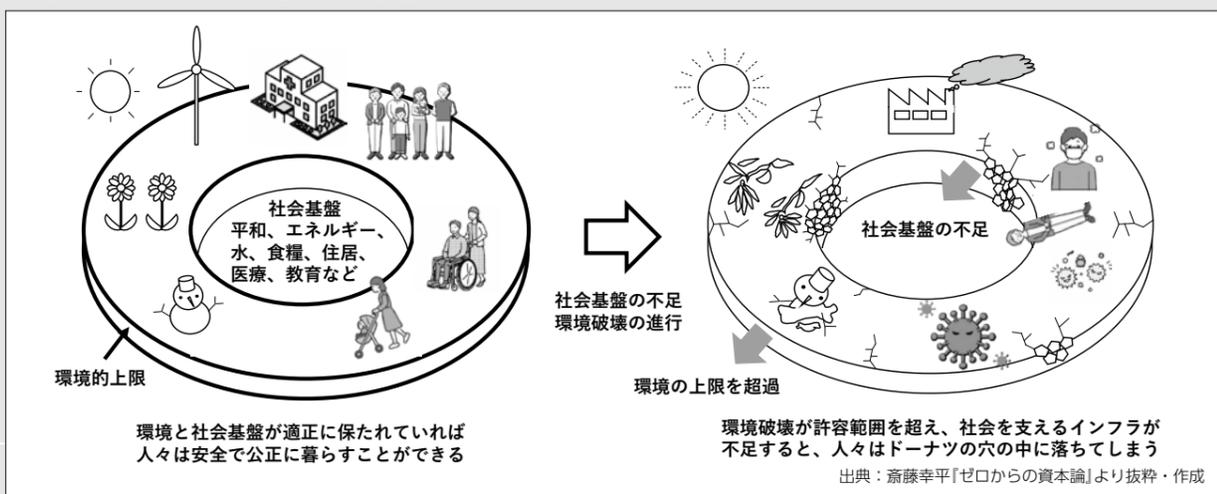
新型コロナウイルス対応では「医療へのアクセスの確保」が大きな役割となりました。医療機関の数や人口10万人当たりの医師数が不足しているわけではないのに、在宅で不幸な転帰となった新型コロナウイルス患者の存在は、社会基盤である医療へのアクセスの脆弱性が顕在化した象徴的な事例だと思っています。一方で、臨床医や研究者は、病気の治療や研究によって寿命を延伸し、主にドーナツの外側を広げる仕事です(あくまでイメージです)。社会基盤としての医療を維持するため、倫理観(死生観)、人権問題、

公衆衛生医師をスポーツに例えてみると

ここからは、ユーモアとして、「ドーナツの内側を守る公衆衛生医師をスポーツに例えてみた件」について書きます。

①バレーボールではセッター
セッターは、基本的に自ら得点することはありませんが、レシーブされたボールをアタッカーに調整する重要な役割を担います。保健医療行政の現場において、医療機関や介護施設、訪問看護ステーションなどが患者さんに直接サービスを提供するアタッカーという

図 ケイト・ラワースによる「ドーナツ経済」のアイデア



イメージです。レシーブ役は

さまざまで、行政機関の窓口や入院・通院先の医療機関、福祉施設、そして、地域のつながりという場合もあるでしょう。健康課題を抱えた地域住民を、適時、適当な組織や人につなげるという仕事内容は、保健所や公衆衛生医師に求められる役割の一つです。戦後の混乱期から徐々に感染症による死者数が減少し、代わって生活習慣病対策が重要となる時代背景により、保健所数は減少してきました。そうした中で迫られた新型コロナウイルスの対応は、セッター不在でバレーボールの真剣勝負に臨んだ状況だったのだと思います。どんな良いアタッカーやリベロがいても、セッターが不在なので、レシーブしたボールが良い形でアタッカーまでつながりません。チームプレーとして美しく機能しないため、混乱する(保健所が大変)こととなります。

②バスケットボールではポイントガード

ポイントガードは、自ら点を取ることありますが、主にゲームの組み立てを考えるポジションです。ボールを自陣から敵陣に運び、オフエンスの起点となります。また、ディフェンスでは、相手の速攻などの急な対応を要する際の際の要でもあります。一方、平時は地域の医療、保健、介護の仕組みを考え、健康危機管理や災害時の要となる公衆衛生医師、両者もどことなく似ていませんか?

③サッカーではミッドフィルダー(?)

これは、ある先生がおっしゃっていた話の受け売りです。サッカーは、ボールと待っている自分分の所にボールは来ません。ゲームに主体的に関わり、自分の役割を果たしていくという姿勢が必要不可欠です。誤解を恐れずに書きますが、公衆衛生医師は、ボールと待っているあまり必要とされません。これは臨床との明らかなギャップだと思っています。

④野球ではコーチやマネージャー

野球では、野手や投手というよりも、スコアをつけるマネージャーやコーチに近いと思います。選手

の特性を理解し、練習方法を考え、時にはデータを活用して実戦に生かしていく仕事です。これは、地域の実情を理解して、時に調査研究を行いその地域のデータを見せながら、保健医療行政を進めていくことに似ています。

⑤その他
その他のスポーツ種目は知識不足で思いつきませんが、オーストララなら指揮者でしょうか。全体で素晴らしい音色を奏するためには、指揮者は必要不可欠です。しかし、指揮者がいなくても、それぞれが好き勝手に楽器を演奏することはできません。

まとめ

保健医療行政はチームプレーです。チーム内の花形ではないけれど、縁の下の力持ちとして、社会基盤を支えるのが公衆衛生医師です。そういう理念で仕事することにやりがいを感じる事ができる(できそうな)人は、公衆衛生医師に向いているかもしれません。初めて読む誰かにとって、公衆衛生医師のイメージが少しでも伝わっていることを願い、筆をおきます。